

「左様か、大きにすみまへん、その代り祝儀おためを澤山どつきり貰ふたら禮を仕ますさ」

「ゴテ／＼云はんと早う持つて行きなはれ」

「大きに、左様なら……嬢、買ふて來た、生貝三杯で三十錢や安いやろ」

「マア／＼安かつた事」

「魚屋で段取を云ふたんや、腹がペコ／＼に空いて居る所から、祝を持つて行つて祝儀を貰ふて米を買ふて飯を喰ふ事まで皆云ふてン」

「家のアラを皆云ふたんか、阿呆やな、サアあんじよう包んだげるさかい之を持つていつといで、口上を覚えていきなはれや、可笑な事を云ふてやつたら笑はれますで、行つたら手を支へて、今日は結構なお天氣様で御座ります、承りますればお宅の若旦那様にお嫁御をお貰ひ遊ばしたそうで御座ります。これは誠に御粗末で御座りますけれど、長家の繫つなぎの外で御座ります、お眼に懸けます。これだけ忘れん様に云ふのやで、繫つなぎの外と云ふてやないと御祝儀を包んでや都合があるよつて、早う行つといなはれ」

「ホー、ゴチャ／＼云はんなんねんな、腹がペコ／＼に空いてるのや、もつと手數のかゝらん様に云へんか、そんな事よう云はんが」

「モウ一ぺん云ふたげる、今日は結構なお天氣様で御座ります。承りますればお宅の若旦那様にお嫁

御をお貰ひ遊ばしたそうで御座ります。之は長家の繫つなぎの外で御座ります。お眼にかけます」

「よしッ、解つた段取り宜うやる、米の袋を借して」

「米の袋をどうしてやの」

「戻りに米を買ふて来るよつて湯を沸しといてんか、釜の中へ米を放り込んで出來たらガサ／＼とかきこむのや、腹がペコ／＼や」

「そないにお腹の空くまで遊んでこいでもえゝのに、仕様のない人やな」

「チャンと仕度をしといてや、頼むで……ア、之を持つて行つたら飯が喰へると思ふたら……氣がしつかり仕て來た……御免やす」

「オ、誰かと思ふたら喜イさんか」

「承りますれば……今日は結構なお天氣様で」

「怪體な挨拶やな、ハイ結構なお日和で」

「お宅の若旦那様におよもご、およもご……およも……マア早い所がお宅の若旦那が嬢を貰ふたさうで」

「ハイ、忤に嫁を貰ひまして」

「これは長家の引張りの外で」